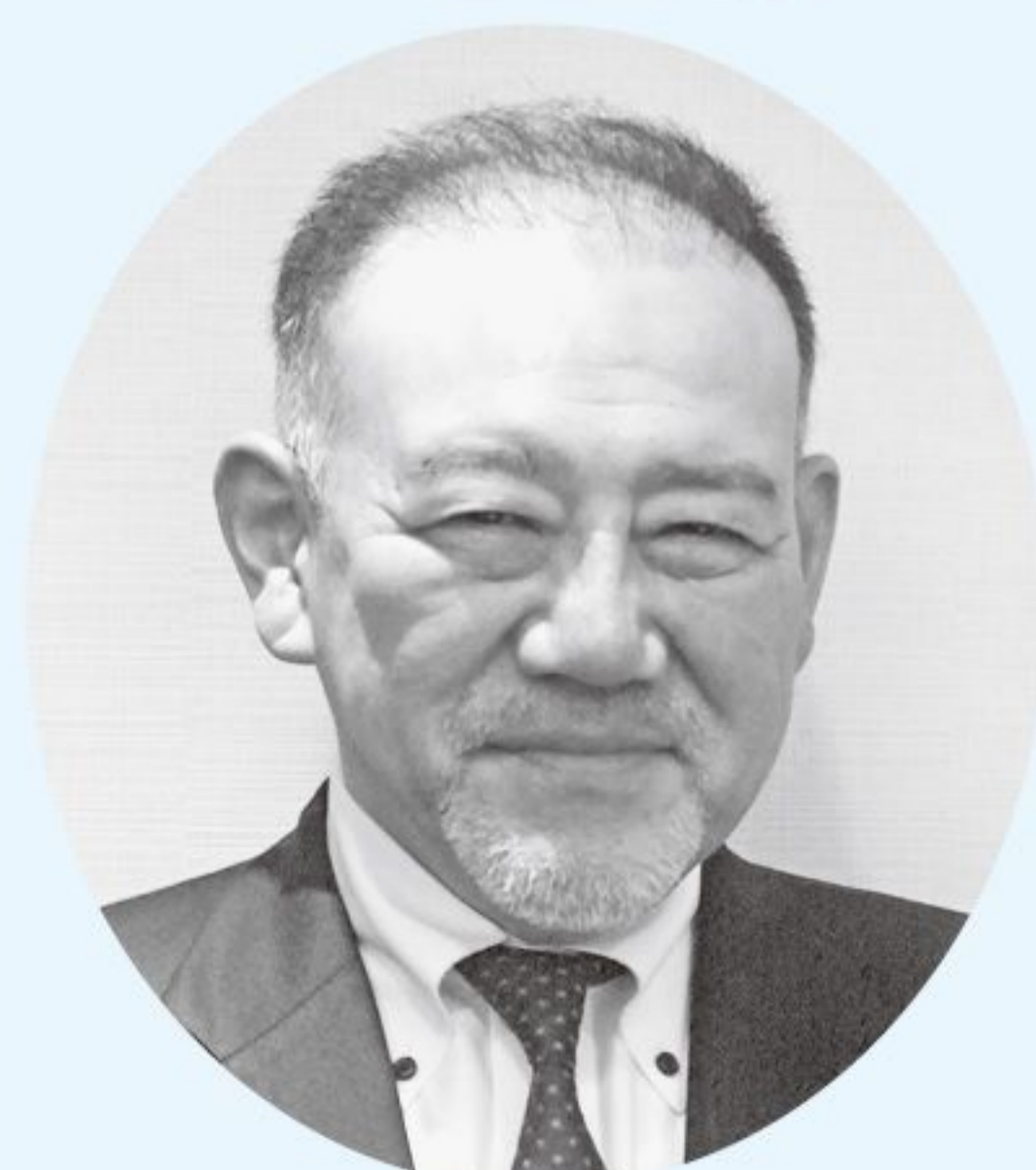




## 地域と共に 「職業奉仕」を実践する

ジェイリース株式会社  
代表取締役社長

なかしま ひらく  
中島 拓 氏



ビジネスを通じた“大分の街づくり”を行うため、青年会議所の有志と、2名の社員とで創立したジェイリースは、今年で13年目を迎えました。

当時は、少子化、高齢化、定住外国人の増加、無縁社会の蔓延などで、賃貸不動産を借りる際に連帯保証人を付けることが難しくなっていました。その結果、賃借人は連帯保証人がいないと希望する物件に入居できない、賃貸人にとっては金銭的信用補完のない賃借人とは契約ができず空室を埋められない、管理会社にとっては契約ができなければ手数料が入らない、そのような連鎖的問題を抱えておりました。

この問題を解消し、賃借人、賃貸人、管理会社をウィンウィンで結びたいと思い、設立したのが九州初の家賃債務保証会社、ジェイリースでした。

九州では馴染みの薄いニッチな分野でしたが、既に東京、大阪、沖縄では同業者が存在しておりましたので、私たちにはある程度の自信がありました。しかし、管理会社に回ったところ「そんな商売聞いたことない」「東京ならともかく大分ではまだ無理やろ」「拓ちゃん、やめるなら早くやめたほうがいいよ」との厳しいお声を数多く頂戴しました。そんなとき、私はサッカーのJリーグを作った川淵チェアマンの言葉「時期尚早と言う人は100年経っても時期尚早と言う。視線を上げて前に進まなければ何も生まれない」をいつも思い出していました。

「理解さえ得られれば必ず成功する」。志を持って営業に回り、家賃保証とはどういう商売なのか、なぜ必要なのかを説いて回りました。

その結果、ジェイリースは徐々に地域の皆様の理解を頂き、利益を計上することができ、九州各県、更には東京にも本社を設立し、現在は全国に22支店のネットワークを構築することができました。また、お蔭様で昨年は東京証券取引所マザーズ市場に上場を果たしました。

弊社は創業以来、地域密着型の営業体制を推進し「職業奉仕」という考えを大切にしています。

「自社だけが徳をすれば良い、儲けることができれば何をしても良い」そういった考えは、地域社会への役割を果たせていませんし、一時的にうまくいってもそれは長続きしません。企業にとって地域は基盤であり、地域に支えて頂いてこそその企業、企業が支えてこそその地域なのです。つまり、仕事を通じて地域社会に奉仕する「職業奉仕」という考え方が重要だと思っています。

弊社は今後とも地域の皆様とともに「職業奉仕」を実践していきたいと考えております。

### プロフィール

生まれ/1957年9月6日 大分県大分市出身

#### 《経歴》

1976年 大分県立大分上野丘高等学校 卒業  
1980年 中央大学 法学部 卒業  
2004年 ジェイリース株式会社設立  
代表取締役社長就任  
2016年 東京証券取引所マザーズ市場へ上場